

安全のために必ずお守りください

取付の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

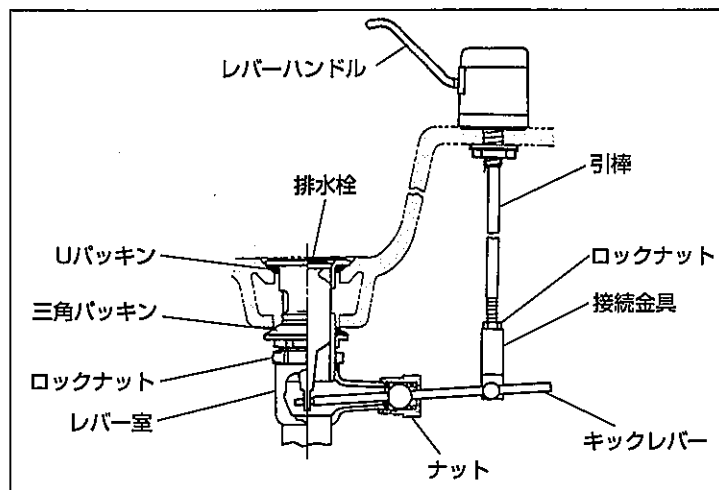
■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

! 必ず実行していただく「強制」内容です。

△注意

! 排水栓本体の外周ねじ部に、メジシールを塗布してください。ねじと三角パッキンのすきまから漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

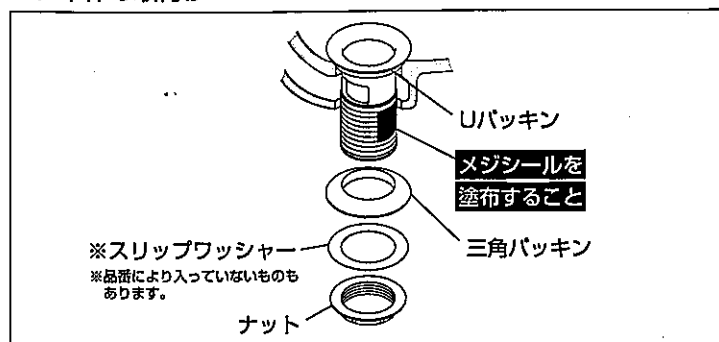
完成図



- ナットは、三角パッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。強く締めすぎると、陶器を破損することがあります。

取付方法

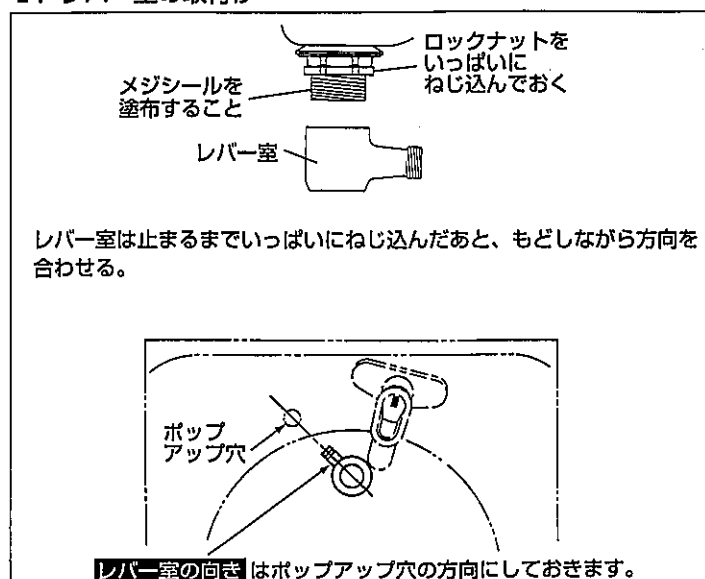
1. 本体の取付け



△注意

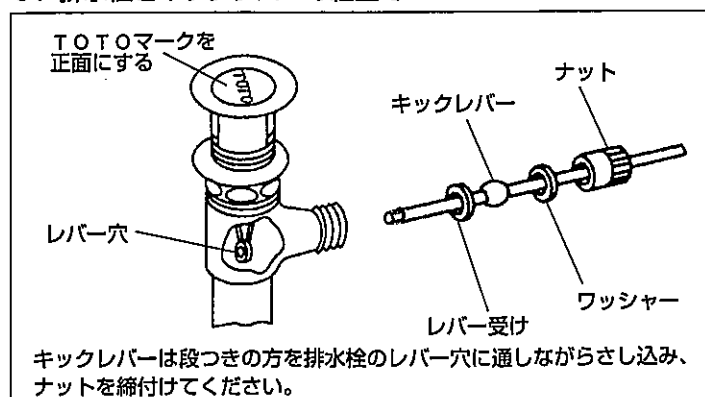
- !** 三角パッキンの方向に注意し、取付けてください。漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- !** ナットは、三角パッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。強く締めすぎると、陶器を破損し、けがをするおそれがあります。

2. レバー室の取付け

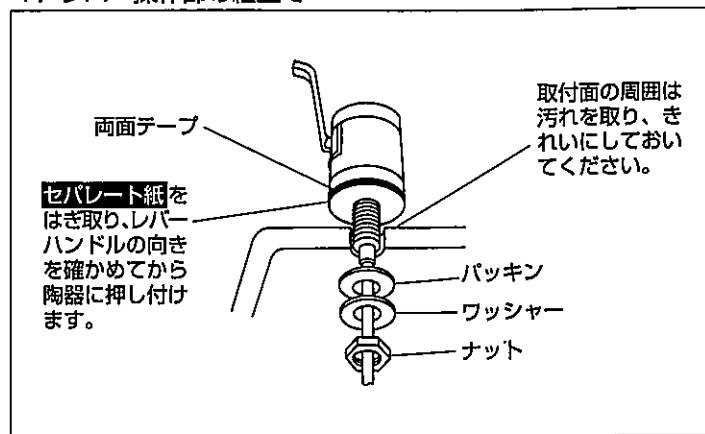


- レバー室のねじ込みが不足すると排水栓の開きが不足する原因となりますので、十分にねじ込んでください。

3. 排水栓とキックレバーの組立て

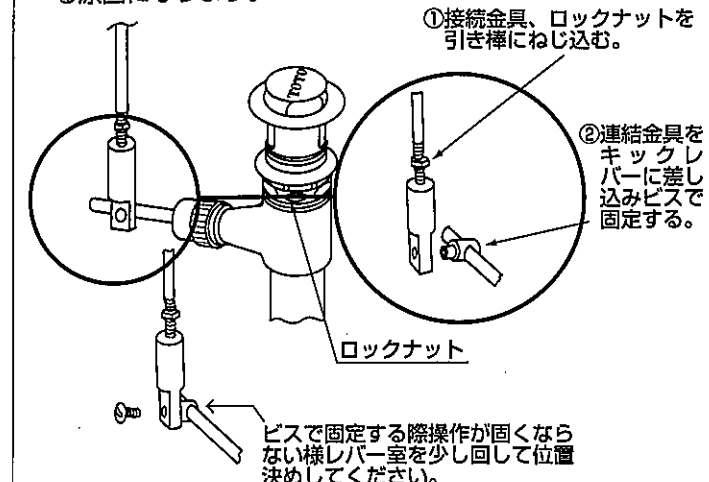


4. レバー操作部の組立て

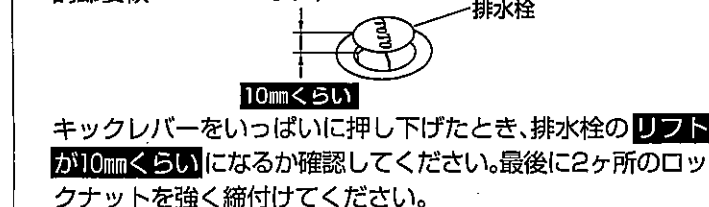


5. 接続金具の組立て及び調節

- 取付け要領
キックレバーをいっぱい下げたまま番号順に次の組立てを行ってください。
上げ下げが不十分のまま組立てると排水栓のリフトが不足する原因になります。

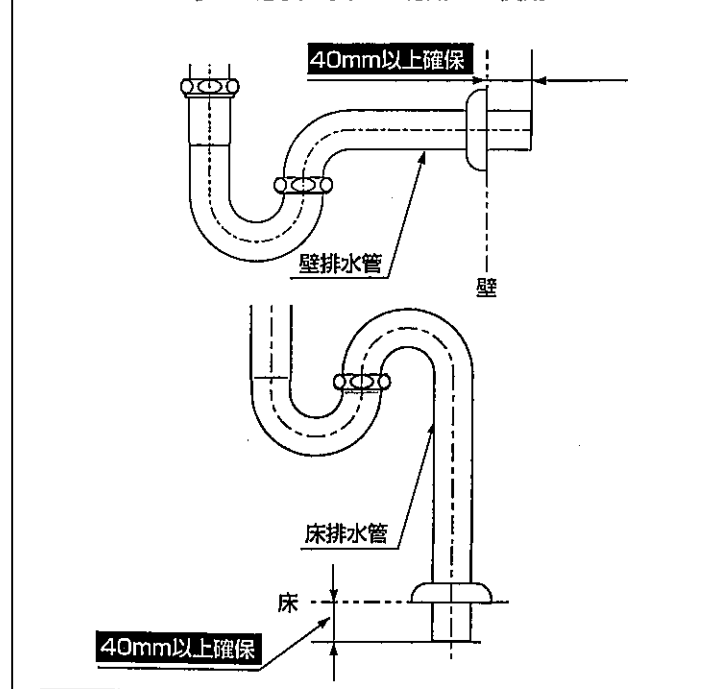


●調節要領



6. 壁排水管、床排水管の取付け

壁排水管及び床排水管は、施工誤差による取付不良防止のため、長さを長めに設定しております。
よって取付時は、差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコ等にて必要な長さに切断して使用してください。

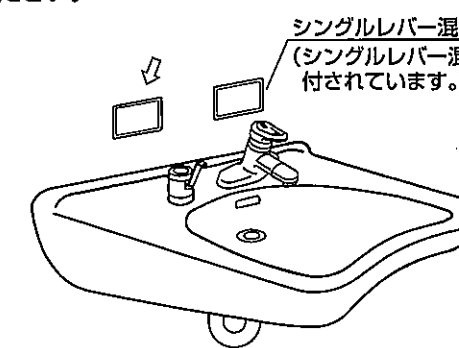


取付完了後の確認

- 取付完了後は2～3度操作して正常に作動するか、確認して下さい。
- 排水管の取付が完了した後、陶器ボウル面に水をためてみて、三角パッキン付近及び、各接続部などに漏水がないか確認して下さい。

※排水栓がゴム栓でないものでは、長時間洗面器に水を溜めた際に多少水位が下がる場合があります。

製品に添付されている使い方ラベルをの位置に貼り付けてください。もし貼り付けできない場合は、お客様に必ずお渡しください。



※図はシングルレバー混合栓とセットした場合です。

日頃のお手入れと点検

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - シンナー、ベンジンなどの溶剤
 - クレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ナイロンたわし、ブラシなど
2. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。

△注意

! 定期的に各接続部から水漏れしていないか確認してください。劣化、摩耗などで部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

この施工・取扱説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
再生紙を使用しています。